

## 【企業レポート】



# 有限会社 マルチソフト



- ◆ 所在地 鶴岡市美咲町22-14
- ◆ 電話 (0235)-28-2502
- ◇ 代表取締役 工藤 良男 氏



## 社長さんにインタビュー

**Q.** 御社を設立された時期や当時の状況を教えてください。

**A.** 個人で設立したのは平成8年の4月、平成12年の4月に法人として登録しました。

当時も今のような景気低迷時で、リストラが増えていた時代です。

それと同時にwindowsの普及も始まった頃だったので、このような仕事をするにあたってはとても良かったです。

**Q.** 御社の主な仕事内容はなんですか。

**A.** 企業の事務関係、それに合わせたソフトウェアの作成が主です。

具体的には“販売管理”や“業務管理”のソフトウェアを依頼されます。

依頼されるのは地元がメインで、関東や県外からの注文は業者さんを挟んで、下請けという形で依頼されることがあります。

**Q.** ほかの同業社にはないと思われる、御社だけの技術はありますか。

**A.** 初心者から上級者まで講習をやっているので、“教える”という技術があります。

**Q.** 依頼されたソフトウェアを作成する期間はどのくらいですか。

**A.** テストも含め、小さいもの（データを打ち込むだけ）だと1ヶ月、会社全体の管理など大きいものは、およそ1年かけて作っています。

**Q.** 御社ではソフトウェアを扱っていますが、ハードウェアの技術も必要ですか。

**A.** ハードには重点をおいていません。

しかし、これは私見ですが、ハードの技術がないと良いソフトウェアは作れないと思っています。

**Q.** このようなデスクワークの仕事に就くために、最低限必要な技術や資格などはありますか。

**A.** 資格は特にはないです。

情報サービス系だと、WordやExcelの技術だけでも大丈夫ですが、私たちがのようにソフトウェアを作るとなると、データベースの技術も必要になってきます。



Q. 社長さんは鶴岡工業高校ご出身ですが、当時の夢はなんでしたか。

A. 当時から今のような仕事に就きたくて、鶴工の選択授業でも人数が少なかった専門科目を受講していました。

当時は就職が少なく、半分以上の人が進学という時代でした。

Q. 専門教科も大事だと思うのですが、普通教科のほうで特に今から力をつけておいたほうが良いという教科はありますか。

A. データ管理でも数字を使いますし、普段使わないような計算などもしますので、数学は結構必要になってきます。

それから、ソフトウェアを作成するにあたって、英語が必要になってきます。

Q. 今、御社では2人でお仕事をされていますが、今後増やす予定やこんな人材だったら必要という考えはありますか。

A. 昨年10月までは1~2人ほしかったのですが、今の景気不況が影響して、増やす機会を逃したと思っています。

もし、景気が回復したら、この仕事はなんでも1人でやる仕事なので、若手で営業ができ、プログラムも1人で作成できる人がいいですね。



## 職業体験報告（感想）

3日間の就業体験で、普段私たちが扱えないようなデータの管理を、wordやexcelを使ってお仕事をさせていただきました。とても貴重な経験だったと思います。

1日中パソコンに向かって仕事をするデスクワークはとても大変なものだとも実感し、何年もこの仕事を続けている皆さんがすごいと思いました。

このインターンシップを通して、工業高校生である限り、このwordとexcelの技術をもっと磨きたいと感じました。

（菅原 由莉）

普段は行う事ができないソフトウェアによるデータ管理という仕事をさせていただいて、より深く仕事について考えるようになりました。

3日間という短い間でしたが、普段では体験することのできないこの体験は、自分の進路を決定する時の重要な材料となり、自分の将来に対する考えを明確にすることができました。

今回の経験で工業高校生として自分の力を、もっと付けていきたいと思いました。

（川井 高浩）

◆報告者 [山形県立鶴岡工業高等学校](#) 2年 菅原 由莉 ・ 川井 高浩